

いきいき萌丘ささき重信通信

発行：萌丘幼稚園 萌丘東幼稚園 萌丘東保育園 いきいき萌丘東ノ郷 市議 佐々木重信（電話 82—1255）

あらゆる手をつかってでも潰そうとしているのか分りませんが、ウソづくりごとは許せません。僭越ですが察するに、人の道として反省するとき必ず来るものと信じておりますので相手を責めません。---唯私市民の心だけは裏切れませんので、どんな酷い虐めでも施設と政治生命は守り続けて参る決意です。故に真実はお伝えして参ります。

遠く半世紀も前のこと、農林省の本庁勤務を辞めて、生地真岡市に捧げたいとの信念で、市議、県議として勉強を積んで市民に尽くしたい一心で必死に頑張っ参りました。歳を重ね多くの経験をさせて頂きまして誠に有難うございます。

お蔭様で、幼稚園、保育園は任せられるようになりました。お年寄りの老人ホームも、素敵なスタッフに囲まれて、これなら近々、お年寄りの入居者と幼稚園保育園の園児達と地域の人達とが関わる三位一体の体制が整って、小さい施設ですが心ある家族的桃源郷が出来るのでないかと喜びにひたり出した矢先のことでした。

即ち、2年前老人ホームの調理を体験されて、月15日午前7時から午後7時まで働いて、15日休めて割増賃金含んで手取り20万円近く頂ければ最高です。是非、働きたいとお願いされていたので、空きが出来たので声かけしたら、姉が勤められるので同じ条件で働きますと、昨年9月1日採用されました。3人の子育て中でしたので、休憩時間など何かと便宜を図って参りましたのが事実でありました。

それが何あったのか分りませんが、厨房の掃除や野菜の収穫をお願いしたら、自分から辞めると言ったのに理事長に辞めろと恫喝されたと言い出し、9ヶ月間毎日午後7時から9時まで残業していたと、残業代としてまとめて請求をしてきた調理員です。

老人ホームは、食を1人でつくってもらう命を預かる厨房です。万一のこと命に関わることされて、ウソが通っては取り返しがつきません。誠実になって欲しい思いで解雇予告通知書を出したのに、不法解雇だ恫喝だと一方的新聞記事の報道です。

何故そんなに、私をいじめ潰そうとするのか過酷です。私は、づくりごとはしておりません。市長に嫌われようが、市民のために正しいことは正しいと議会で質問して参りました。「ささき通信」も同じ考えで発行しております。

今回の出来事は、何か意図的的政治的に見えますが、東京の一流の弁護士に相談しましたところ、就業規則で変形労働時間制をとっているのでは問題はないし、残業したときは申告書を出すことになっているのに出しておらず、9ヶ月間の一括メモでの午後7時から2時間の残業の申告は認められません。

労働基準監督署の是正勧告書は誤解されたもので撤回を求めるべきです。下野新聞の記事は明らかにガセネタです。実際に勤務していない、所定の届出書を提出していない。下野新聞に名誉毀損による損害賠償請求するか、調理師に返還請求するかは、政治状況を判断して行使する必要があります。以上結論され問題にならないとの見解です。

“意見発表会”（市民会館大ホール）開催します---令和6年4月21日（土）午後1時30分です。真岡市の今と夢と希望の発表会です。発表してくれる方募っております。来賓挨拶や応援演説はご法度です。持ち時間5分、長くも7分位にまとめて頂ければ幸いです。

<二宮地区の皆さん>

生活に直結するインフラの整備ですが、二宮地区はこれで良いのですか。そこに住む市民になったつもりで取り組んで欲しいです。

●まず道路、生活に欠かせない生活道路ですが、狭くて車が落ちそうで舗装もされていない道路が、真岡地区と比べて、二宮地区には多過ぎます。早急に整備が必要です。

●次に上下水道です、生活水準のバロメーターである水道と下水ですが、普及の遅れの甚だしい二宮地区は長沼地域を中心に合併処理方式によって整備を進めているが、下水は合併方式では何年か経つと、不具合が生じると言われており好ましくありません。環境に良くありません。一般的下水道方式にすべきです。

<真岡地区の皆さん>

寺内地区に産業団地として造成しておりますが●東京から百kmの好条件を生かし、医療福祉系の大学やドローン技術や航空の知識等を学ぶ専門学校又は外国人労働者受入れの専修校や若い人達に関心あるIT関連など真岡市の発展に直結する団地に変更させませんか。市の職員や市民の知識を生かして人口減を打開するのです。

●真岡の歴史や文化を、子ども達や市民に広めましょう。例えば、流鏝馬の中村八幡宮周辺の整備はじめ、市内にある由緒ある神社仏閣の再認識につとめて郷土愛を育ませ、真岡市の良さの発掘や普及に研鑽をするときです。親鸞聖人の専修寺や二宮尊徳をまつる桜町神社に勝道上人の仏生寺等を生かし合うことです。

閉鎖された小学校以外にも、使われていない市有財産の多さに愕然です。

ご案内の様に、施設を閉じたとしても維持管理費はかかるものです。除草等の経費は勿論ですが、借地の場合、山前南小の敷地は年間242万円、中村東小は277万円、中村南小は166万円もかかっているのです。使われていなくも、環境維持費等管理費を含めると、3小学校で年間1,000万円は下らないと思われます。本当に、ハコモノ行政のツケがあちこち無駄な支出をつくり出していること、今になって実感されるのです。

この機会に、市の財産のうち使われていない空き地の土地が、あまりにも沢山あるので、氷づけの眠っている土地について、如何に有効活用の方策や施策を打ち出して、無駄を無くそうと如何に取り組んで来られたのか執行部を質しましたところ、形式的事務的答弁に終始され、どこまで無駄をなくそうとして来たのか、如何処分したり改善をしようとして来たのか、理解出来ず積極的工夫と善処策を求めた私です。

使用されていない空き地の主たるものは、大田山団地跡地10,315.00㎡。火葬場北3,268.00㎡。ひまわり園跡地2,862.38㎡。若旅分校跡地2,041.23㎡。公民館二宮分館跡地1,715.64㎡。コンピューターカレッジ跡地1,628.36㎡。大田山団地西1500,00㎡などです。

他にも使われていない空き地は30数件もありました。合計するとかなりの面積になります。市有財産だからとしても、維持管理費に、借地財産でも借地料が含まれます、大変な支出になります。税金を払っている市民の立場に立って可能な限り無駄を無くし市民に寄り添った真摯な姿勢で仕事に取り組むことが、如何に大切かと思われた今回の経緯でした。

二宮地区にスマートインターチェンジ誘致しよう（真岡にもう1つIC）

インターチェンジ誘致期成同盟を結成し、地域あげて市民みんなで積極的に頑張ってみようではありませんか。

北関東自動車道は、出来て15年です、早いものです。取り組みによっては、とっくに出来た二宮インターチェンジですが、市長も前向きに検討するとの答弁になりましたので、皆さん力を合わせて頑張りましょう。もう1つ、真岡市にインターチェンジの整備実現をやり遂げましょう。

真岡桜川間は、最も長い距離間です。二宮の方々が約10kmも協力されたので、北関東自動車道が出来たのです。そのお蔭です、礼遇しなければなりません。未来を創る子ども達にも市民の皆さんの為にも、1日も早く誘致しインターチェンジの整備にこぎつけましょう。県、国、公団に働きかけるために期成同盟は有効です。

誠です、スマートインターチェンジをつくるのが子ども達に夢と希望を与える具体的目標になるのです。“なせば成る なさねば成らぬ 何事も” です。